

境港市民図書館協議会 会議録

令和4年10月7日

境港市民図書館協議会（令和4年10月7日協議会 会議録）

召集年月日 令和4年10月7日 10時00分
召集場所 境港市民図書館 コワーキングルーム
開 会 10時00分
出席委員 足立 茂美 池淵 清美 門脇 規矩子 松本 信子 山本 美千枝
佛坂 美香子 池淵 美香 仲里 心平 足立 博文 甲斐 清明

説明のために出席した者

教育長 山本 淳一
生涯学習課長 松本 昭児
市民図書館長 嘉賀 収司
市民図書館副館長 高橋 真太郎
生涯学習係長 角本 豪

説明以外の出席者 なし

傍聴者 なし

会議書記 角本 豪

報告事項
・令和3.4年度事業等について
・意見交換

その他

閉 会 12時05分

(10:00 開会)

生涯学習課長 <開会>

教育長 <挨拶>

会長 <挨拶>

<会長、副会長の推薦 決定>

<自己紹介>

事務局 <報告(令和3.4年度事業等について) P1~P3>

P1 協議会委員について 【新規】仲里 心平 足立 博文

P2~3 予算について

- ・図書館管理費 新しい図書館になり司書2名増し12名体制。
- ・読書活動推進大会開催事業補助金 3年度の読書まつりは中止。各学校、団体の活動を紹介した小冊子を作成した。今年度はみなとテラスを使った読書まつりを開催するため会場使用料として増額。
- ・鳥取県図書館協会負担金 例年通り
- ・図書館 IC システム整備事業 現在利用している図書館システム、自動貸出返却機の保守料。
- ・図書等搬送事業 新しい図書館開館への図書の移動、旧館の書架等は、庁内リサイクル後に残ったものを処分。
- ・地域で交流し学び合う図書館オープニング事業
- ・ビジネス支援サービス推進事業 日本海新聞、日経新聞記事の検索できるデータベースを導入。
- ・新館オープンに向けた雑誌購入事業
- ・読書バリアフリー推進事業 録音図書をダウンロードできるサピエの利用料、大活字本、外国語資料を購入

会長 P2~3 についてご質問ありますでしょうか。

委員 地域で交流し学び合う図書館オープニング事業は今年度だけでしょうか。

事務局 まだ来年度予算要求について図書館と協議して要求を考えます。

この事業は初年度、図書館が主催しており、これをどんどん地域の方に移行したいと考えています。

会長 ICシステムサービスは市史編さん室の活動費は含まれていますか。

事務局 市史編さん室の予算は図書館とは別になっています。

会長 図書館が新しくなる時に別予算で図書を購入していると思いますがどんな感じでしょうか。

事務局 新しい図書の購入については3年度予算で3000万円あり、約18000冊購入しています。図書館管理費の備品購入費の600万円で今年度分の図書を購入します。別事業の読書バリアフリー事業の方で大活字本と外国語資料の購入をします。

- 事務局 <報告（境港市民図書館の沿革）P4～P5>
質問なし
- 事務局 <報告（令和3年度の活動について）P6～P7>
令和3年度はコロナ禍の状況でしたが、イベントについては延期したものもありましたが、計画したものは全て開催しました。大きな特徴としては高橋副館長が来られたことで、市役所各課からの連携が取れ、職員向けの研修を開催し繋がりが出来ました。また境港市商工会議所との連携、県立図書館とも連携し農文協との連携も取れました。出前図書館として公民館のイベントや認知症サポーター養成講座への参加も行うことが出来ました。
- 会長 P6～7についてご質問ありますでしょうか。
図書館を出て研修会の開催は嬉しいです。色々な立場の方への研修は今後も続けてほしいと思います。
- 事務局 高橋副館長のノウハウや学びを、市の職員や司書、地域の方への学びの機会、地域への発信などを通して大きな力を発揮してもらっています。
図書館がサービスするだけでなく、住民の方にどう使ってもらえるかが広く繋がっていくと良いと思います。
- 事務局 <報告（地域連携、図書館利用状況）P8～P9>
図書館が休館している時に、公民館の協力をもらい通常より増冊し、本が借りれない期間に移動図書館を実施できた。7月より図書館が開館しましたが、今後も全館で続けたいと考えています。済生会病院はコロナで今も部外者は入れないということで休止、自衛隊の移動図書館も9月に実施出来ましたがコロナにより状況は様々です。
- 会長 休館中に公民館でささやかですが本が借りれる状況があつて良かったです。
- 事務局 令和3年度は3月から休館、コロナ禍のなかでも302日開館出来ました。3年度は貸出し冊数約12万冊、これはここ数年の中でも多い冊数になります。（令和2年度 10万9千冊、令和元年度は11万6千冊）令和4年度になりたくさんの利用者の方に来ていただいています。夏休み中は高校生、中学生、小学生の入館が多かった。また読書のあしあとを中学生以下に無料配布したことも入館者数や貸出し冊数に良い影響があつたのではと思います。
- 委員 夏休み中に図書館から出て2階で勉強する姿をみて、これが交流センターの醍醐味と思いました。センター近辺の利用者が多いのは想像できますが、遠い方の来館状況はどんなものでしょうか。そのような方のために公民館の分館や移動図書館をやられていると思いますが。
- 事務局 公民館の分館に関しては、数年前の協議会での意見から、交通の便がない地域の方へ本に親しんでもらうために始めた事業です。利用者の毎月の統計を見ると、遠い地域から親子で来られる方も多く、遠くだから貸出し冊数が少ないということはないと思います。
感覚的な話になりますが、図書館に来る人数については近くの子が多くなると思

います。

- 委員 団体貸出しというものはどんなものでしょうか。
- 事務局 小中学校は市民図書館と同じシステムで繋がっています。団体貸出しはシステムの繋がっていない保育所、まつぼっくりなどの事業所などにまとめて借りてもらっています。米子市や松江市の事業所への実績もあります。
- 委員 学校図書館から借りる本の中で、市民図書館の本があった。団体貸出しされたものを更に児童に貸している実態があったが、どんなものでしょうか。
- 事務局 図書館から学校への貸出しした本は学校までで、それを個人が持って帰るのはダメです。基本的には学校に管理をお願いしており、棄損等があれば学校に対応をお願いします。県立図書館と市民図書館の関係も同じです。
- 委員 以前市内の独居老人の方に図書館が居場所になるとチラシ配布を民生委員にお願いしたが、状況はどうでしょうか。
- 事務局 ハッキリした現状は掴めていません。ただ図書館は皆さんの居場所になるということは民生委員の皆さんに理解していただけだと思います。
- 委員 高齢者といっても年齢の幅は大きい、家に籠っている人が社会に繋がるのが大事と思っています。足を運んで外に出ていただき社会参加することが図書館の一つの役目と思っています。
- 事務局 これは図書館のテーマの一つと思っています。
- 委員 はまる一ふバスと市民交流センターとの接続を上手くすることで、遠くに住んでいる方や高齢の方も同じで社会参加に足が向かうと思います。
- 会長 運転免許を持っていない高齢者の方や遠くの方に本の借りる環境を作ってほしいと以前の会で話した時に、はまる一ふバスを使ってほしいとの回答でした。はまる一ふバスは便数も少なく、行きは早く着いたが帰りの便を考えると8分しかなく、次便で帰るとかなりの時間が必要となり、気軽に来れる状況ではありませんでした。よその図書館では本の配達をしている自治体もありました。図書館で本を探す時に歩くのも良い運動になります。
- 会長 お年寄りの方に図書館を使っていただくのは、脳の活性化・体力増進にも繋がるとしています。読みたい本を図書館内で探して歩くのもかなりの歩数になります。
- 事務局 はまる一ふバスは経営も難しいと聞きました。好きな時に来て好きな時に帰るなら自家用車が都合が良いと思いますし、市役所はバスが一番来るところになっていると思いますし、遠足ではまる一ふバスを使って図書館にみたいな企画も出来てきたらと思います。
- 委員 ふれあいサロンでもはまる一ふバスに乗って図書館に行こうという話が出ましたが、きっかけは図書館が行った古本市に参加して本に目覚めたことだと言っておられました。
- 事務局 公共交通機関については、はまる一ふバス、境線、タクシーなどを組み合わせることで利便性は高まると思います。違う切り口になりますが来館しにくい方に本

を読む機会の提供を考えますと電子書籍という議論も当然出てくると思います。ICTの活用になると高齢者の方は苦手だという別の課題も出てきますし、高齢者だから使えないという否定の議論ではなく、高齢者にも使ってもらえるような工夫をしながらICTを活用して課題の解決、バスの便数を増やすだけでなく必要なことかなと思います。

委員 包括支援センターがバスの活用についてカードを作成していましたが、そこと上手く連携するのも一つの手段かなと思います。そうすると病院から図書館への行き方や、夏の暑い日に家に一人冷房をかけているより図書館で過ごせると電気代の節約にもなります。

委員 介護予防の会場をみなとテラスにしたらどうかと、体を元気に意識している方は多いですが、本を読んで脳の活性化という方はまだ少ない、これをセットにして公園で運動したあとにみんなで図書館で本を借りる、体と脳の活性化の企画ができると良いかなと思いました。

幸朋苑にいる島根県の職員が、図書館だよりを見て興味を持ち前の図書館、新しい図書館にも来たら、住んでいるところは違いますがこの図書館にこれからも来ると言っていました。年度初めに職員が目標を立てる中でスキルアップの項目があり、子どもと一緒に図書館に来て福祉や福祉の本を読んで知識を深めたいとの目標を見て嬉しく思いました。

会長 自分も新しいホールでフィットネスしてから図書館で本を借りて帰る、体と頭のセットでやることを境港市の特色にしてはと考えて伝えたところです。ホールが有料なので保健相談センターみたいに使えないのが残念です。

事務局 先月長寿社会課と連携し、図書館の入口に認知症のイベントをしたところで、今繋がりが出来つつあります。まだまだ考えて行く余地があると思います。

委員 利用状況で年代別とか、どんな分野の本が借りられているとかデータ分析が出来る戦略が練れると思います。

事務局 今までの選書はどうしても感覚や好みによるところもあります。データに基づく選書が出来るツールは活用すべきと思います。

事務局 <報告（令和4年度の図書館運営について）P10～P11>

境港市の総合計画を基に、図書館職員全員で考えたミッション1～4です。

ミッションに掲げている居場所の提供については、まだ始まったばかりで出来ていないところもありますが、少しずつ取り組みたいと考えています。

図書館が様々な可能性がある場として皆さんに知ってもらうために、図書館が主催として事業を実施しています。9月開催分までに166名の参加、先日の医療・健康についての鳥取県立図書館との共催イベントも56名の参加がありました。他機関との連携も9月は長寿社会課の展示、今月は自治防災課、今後も農政課、水産商工課、都市整備課、観光振興課、商工会議所、海とくらしの史料館とも連携を考えています。

ホームページが新しくなり、他のSNSの活用にはまだ手がまわっていません。

ダラズFMは毎月1回副館長が出ているが、10月からは他の職員での対応を考えています。たくさんの方に知ってもらうことを考えています。

委員 前の図書館は狭かったが、館内が広がって逆に心配に思う。先日の研修で指宿図書館のトイレで小さい子どもが性被害にあったと聞き、この図書館でも若干不安に思ってしまう。

事務局 図書館では今フロアワークを大事にしようということで、みなさん声かけまではしませんが、職員がフロアに出てアンテナを張っていこうと考えています。

事務局 図書館に限らずの話になりますが、子どもを見守っていくことに関しては地域の人達がよその子どもを見守ってくれるような関係性のある図書館になれば良いと思いました。

委員 応援団の中でも「お母さんが手を離さないで」というのは簡単、そうじゃなくて地域で見守れるのが大事だから、その発信を応援団がしたら良いなど役員の中でも課題です。図書館長さんが言われるように、自分達も市民も育たないといけない、それが進化する図書館だと思います。

事務局 自分達の図書館を自分達が使う時に、隣の知らない子を気になる、何かあったら声をかけられるような関係性のある図書館を目指していきたいと思います。職員の人数も限られていますし、館内に防犯カメラがついてはいますが、それは後の事になってしまいます。利用者同士が声かけしたり心配し合う関係性ができる図書館を目指したい。応援団の人が来られた時にそんな目で見てもらえたら助かります。開館してから色々とも問題もありましたが、図書館のことは図書館で学ぶのが一番と考えています。消しゴムのカスは集めるとか、そんなルールが分かってももらえたら嬉しいです。図書館も皆さんも成長していけば良いと思います。

会長 先ほどの話は図書館だよりや応援団の通信でもみんなで育てていく内容を周知して意識を高めていけたらと思います。

委員 図書館の玄関などに机を置いて、高齢者の方などが座って子どもを見守るような席を作って何曜日の何時からは自分が見守るといような当番制はどうでしょうか？自分の役割があると励みになり、やってもらえたらはまる一歩バスの利用券がもらえるような。

会長 小学校の送り迎えの見守り隊のように、これは図書館見守り隊ですね。

委員 それに名前をつけてやらなくても良いような境港市民図書館になればと思います。自分が図書館に来た時に3歳の孫が勝手に本を鞆に入れてて、帰ってみてビックリしたことがあり、本を借りる方法を教えてなかった。図書館見守り隊とか名前をつけてやったらすぐに可能かもしれませんが、自然にボチボチ時間をかけてゆっくり成長できる図書館になったらと思います。

事務局 あいさつできる地域は防犯意識が高く犯罪が入りにくいと聞きます。図書館もみんながあいさつまではしなくても、心配するような雰囲気風になると思います。よからぬ事を考える人がここでは無理だなと出ていくような図書館になればと思います。

委員
事務局 それは出来ると思います。顔が見える図書館の醍醐味だと思います。
カウンターに消しゴムかすを入れる小さな箱を置いています。それを返しにくる
ときに「ありがとう」、図書館としても「きれいに使ってくれてありがとう」とい
うような取り組みをスタートしています。

委員 犯罪がおこってしまうと、すぐに対策という流れになります。密室に入る時はボ
タンを押す、何か引っ張ったら事務所に連絡が行くような、何らかの連絡方法が
周知してあると良い。この図書館を清掃していて思ったのが時間外返却室も鍵が
開いているので十分密室になりますので、通常は閉めておくような事も必要かな
と思います。

会長 以前テレビでどろぼうが入りやすい町というのをどろぼうがインタビューを受
けていた。その町の住民が声かけやあいさつをすると入りにくいと言ってました。
高齢者の方の活動の場や生きがいに繋がる場所になると良いです。

事務局 この後はイベントのチラシを付けていますので、ご確認をお願いします。
11月6日にみなとテラス全館を使ってのイベントがあります。共催として市民
図書館となっています。皆さんからも広く声かけの協力をお願いします。

会長 分科会1ーアには佛坂委員も出ています。ホールの講演会も400人定員となっ
ていますので是非参加をお願いします。1ーイにはお話ポケット、1ーエの大道
さん、皆藤黒助さんも境港市出身の作家さん、一棚展示も図書館応援団が参加し
ます。地元読書ボランティアにも参加があります。

委員 障がいのある方、未就学児の利用状況はどんな感じでしょうか？

事務局 利用者の中で、どの方が発達障がいの方とか障がい者の方というのは窓口で判断
するのは出来ません。例えば放課後の支援サービスをしている事業所への団体貸
出しや指導員の方と一緒に来られるのは見かけることはあります。

委員 未就学児の子どもなら子育て支援課と連携して健診の流れで図書館に来てもら
ったり、障がいをもつ子どもの親の方は、図書館に来て声を出したり、動き回
ったり多動だったりしたらダメという気持ちを持つ方もまだまだ多いと思いま
す。小さな時から図書館に慣れ親しむような流れを作ってしまうと安心して図書
館が利用できる、先ほども話がありましたがるのが苦手な場合は電子書籍を使
って自宅でも本が読めることを、そのような層に対してアプローチしてはどうか。
イベントや講座となると行きにくいので、各課がつながって自然に来やすい体制
を作ってもらいたいです。

委員 子育て支援センターでは妊婦からの両親学級で図書館の事は話しています。保健
師さんも生まれた時から図書館利用者カードが作れますよとか説明しています。

委員 来られない、使われない方に対してどうアピールしていくのかは大事、自分達の
世代でも使われない男性も多く、聞いてみると本を持って借りるだけで良いのに、
雰囲気にかけてしまってそのまま帰ってしまうようです。たとえばキャッチフレ
ーズじゃないですけど「本を取って受付に行こう」のような入った時に分かりや
すいメッセージがある借りやすいのかなと思いました。借りれない大人がいるこ

とも知っていてほしいと思います。

委員

平日に来ると図書館職員の皆さんがフロアに出て話をされる姿を良く見ます。市民の方が困っている姿を見つけることができます。カウンターで聞きにくいということはあると思います。ちょうどそのような場面があったときにカウンターと一緒にいったら司書さんに丁寧な対応をしていただきました。

会長

委員の皆さんも色々な方に声をかけていただき、たくさんの意見を聞いていただくことも委員の役目だと思いますので、よろしくをお願いします。

協議会の図書館視察も例年2月3月考えています。近県で見てみたい図書館とかありますでしょうか。

委員

行けないならオンラインでやるのは可能でしょうか？石川県立図書館に行ってみたいです。

会長

今のようにお気づきになられたことがありましたら事務局までご連絡ください。

12月11日には読書まつりを予定していますので、参加していただき、また意見をお願いします。視察についてはコロナの状況をみて考えたいと思います。

今日はありがとうございました。

(12:05 閉会)